

大東町会場（古代鉄歌謡館）

Q7：温水プールのこと、再三申し上げているが、先ほども吉田町へ通っておられるという話を聞いた。温水プールではなく、海潮温泉には35度という温泉が止めてあるので、水を沸かさなくても、ぜひ活用していただければ、施設も良くなり燃料費が安くなると思う。そうなればもっと良い設備もできると思う。せっかくある海潮温泉を利用いただくよう、再検討いただきたい。

A：ここに至る経過はいろいろあった。現在加茂にある温水プールはB&G財団が昭和62年に建てられ、平成元年に当時の加茂町に移管された。財団の施設としては全国に480箇所あり、その300箇所目で、ずいぶん古くなってきた。古くなったところへ財団が建て替えの面倒を見た。ところが、残念ながら5年くらい前から、リニューアルする際に財団の責任で施工するのはやめよう、そのかわりある程度の補助をしようということになった。財団として建て替えるということになると、今まであった場所に建て替えることを容認し、100～200mくらい動かすのは、現在地とみなし許可するという。そういう背景があって、財団の温水プールを建て替えるということになっている。その際、ただの温水プールではなくて、医療と保健の融合云々と言っているが、特にリハビリが可能のように、また、病気でない人が病気にならないための予防の活用ということで、指導者の皆さんもそうした方々を対象に指導をなさっている。そういう経緯があって、リハビリのために、予防のために温水プールを活用する。温泉であろうと温水であろうと効果は同じという医師の先生の話もあるので。確かに温泉がふんだんに使える施設ということであればそれにこしたことはないが、その他にもいろいろな要因があり、今検討している。しかし今話すような計画が、広く市民の皆さんに理解いただかなければ前に進む事はできないので、しっかり丁寧に説明させていただき、幅広くご理解いただく中で進めることができればと思っている。(市長)

Q（再質問）：海潮温泉でやれば、多分ほとんどの人が理解すると思う。桂荘に毎日入っていたら手が動くようになったという話も聞いたことがある。海潮温泉を活用していただければ、皆さんにはよくわかる。水を沸かして健康になるということではなかなか理解を得られないと思う。海潮温泉を使って健康になるということなら賛成が多いと思うので是非考えてもらいたい。

A：そういうところが建設場所としてとなれば言うことはないが、広く市民の皆さんに意見を聞く中で、子どもからお年寄りまで使用が可能だということを前提にしながら、よく考えて行きたいと思う。(市長)